

令和3年度事業報告

公益財団法人大阪腎臓バンク

自：令和3年4月1日 至：令和4年3月31日

概況

1. 理事会及び評議員会等開催

(1) 令和3年5月12日（水）（理事会-WEB開催）

令和2年度事業報告（案）及び決算（案）、評議員会へ理事候補2名、監事候補1名を推薦することについて原案どおり承認された。

(2) 令和3年5月28日（金）（定時評議員会-書面開催）

定款第20条の規定に基づき、決議省略により令和2年度事業報告を了承し、令和2年度決算（案）を原案どおり承認した。新たに理事2名、監事1名、評議員2名の選任を原案どおり承認した。

(3) 学会等共催審査委員会を書面により開催し、第96回大阪透析研究会、TSS Asian Regional Meeting 2022 の2件の学会と令和4年度実施予定の日本組織適合性学会近畿地方会ほか5件の研究会の共催を決定した。

(4) 令和4年2月16日（水）（理事会-WEB開催）

令和4年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について原案どおり承認された。

50周年記念事業積立基金の設置が承認された。

2. 基本財産の状況

令和3年度末（令和4年3月31日） 基本財産 60,000,000円

事業報告

1. 腎不全実態調査助成事業（40万円）

血液透析医療や腎移植医療の実態把握のため、大阪透析研究会及び腎移植施設連絡会が行った調査・解析研究に対し、それぞれ年間20万円を助成した。

2. 若手研究者に対する研究助成（250万円）

令和3年度の研究助成事業も、大学・病院医師・コメディカルといった様々な所属や移植・透析・CKDといった様々な医療分野からの申請を一律に審査していた方法を改め、様々な分野の研究テーマに幅広くチャンスを与えるため、施設・資格、医療分野ごとに枠を設け、その各々の枠の中で審査を行うこととした。

その結果、20件の申請に対して基礎分野は6件、臨床分野は3件、コメディカルは3件、疫学分野は1件に対し助成した。

① 朝比奈 悠太（大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学）

血液透析患者の歩行機能に対する whole body vibration の効果-ランダム化比較試験

助成金 20万円

(OKF21-0001)

② 美馬 晶（大阪医科大学 腎臓内科）

脳腎関連 IRSI/インスリンシグナルによる糖尿病性腎臓病とアルツハイマー病の治療

助成金 20万円

(OKF21-0003)

③ 新 健太郎（大阪市立大学医学部附属病院 医療機器部）

オンラインHDFにおけるアルブミン漏出の関連因子の検討

- 助成金 10万円 (OKF21-0005)
- ④ 中尾 俊一郎 (大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター)
日本外傷データベースを用いた小児鈍的腎外傷の受傷機転と予後に関する研究：
小児発達段の違いによる分析
助成金 20万円 (OKF21-0007)
- ⑤ 上原 博史 (大阪医科大学 泌尿生殖発達医学講座泌尿器科)
腎移植における肥満の弊害と減量の意義の研究
助成金 20万円 (OKF21-0008)
- ⑥ 松田 潤 (大阪大学医学部附属病院 腎臓内科)
慢性腎臓病治療を目指した糸球体性尿蛋白の発症機構解明
助成金 40万円 (OKF21-0010)
- ⑦ 角谷 佳則 (大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学)
2型糖尿病の糖尿病性腎臓病におけるグリコカリックス障害マーカーとアルブミン尿および
動脈硬化指標との関連に対する検討
助成金 20万円 (OKF21-0012)
- ⑧ 角井 弘嗣 (社医) 愛仁会井上病院)
睡眠時無呼吸症候群の評価・治療介入から透析患者の疲労感の軽減を図る
助成金 10万円 (OKF21-0013)
- ⑨ 待場 優里 (大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学)
血液透析患者における新規栄養評価指標 NRI-JH (nutritional risk index for
japanese hemodialysis patients) と感染症・心血管疾患・総死亡との関連～DREAM コホート研究～
助成金 20万円 (OKF21-0014)
- ⑩ 塩谷 拓嗣 (近畿大学病院 小児科)
IgA 腎症に関与する原因抗原の同定
助成金 20万円 (OKF21-0015)
- ⑪ 岸村 厚志 (滋慶医療科学大学院大学 医療管理学研究科)
新型コロナウイルス感染拡大状況下における慢性血液透析患者の日常的活動の実態調査
助成金 10万円 (OKF21-0016)
- ⑫ 安田 聖一 (大阪大学 腎臓内科学)
生体内におけるリン恒常性維持機構の解明
助成金 20万円 (OKF21-0017)
- ⑬ 加藤 大悟 (大阪大学大学院医学系研究科 泌尿器科)
遺伝子改変ネオアンチゲン特異的 T 細胞による腎細胞癌個別化免疫療法の開発
助成金 20万円 (OKF21-0019)

3. 優秀論文に対する褒賞(40万円)

令和3年3月の第94回及び9月の第95回大阪透析研究会で発表され、優秀論文選考委員会で選ばれたもの年間8件を表彰し、褒賞金各5万円を贈呈した。

(1) 第94回大阪透析研究会優秀論文

- ① 新型コロナウイルス患者に対する当院での対応について

(のがみ泉州リハビリテーションクリニック)

- ② 血液透析療法を受ける患者の導入期における困難からの立ち直りのプロセス

-レジリエンスの概念を用いて- (井上病院)
 - ③ 当院における KM-CART の現状 (済生会中津病院)
 - ④ ピア・ラーニングを取り入れた PD 学習会を開催して (白鷺病院)
- (2) 第 95 回大阪透析研究会優秀論文
- ① キンダリー4E から 5E への変更による当院透析患者の P、Ca 管理について
 (PL 病院 臨床工学技士室)
 - ② 急性期病院の人工透析室で COVID-19 患者受け入れに向けた取り組み
 (堺市立総合医療センター)
 - ③ 冠動脈バイパス術後に包括的外来心臓リハビリテーションで運動耐容能が
 改善した当院血液透析中の 3 例 (白岩内科医院)
 - ④ 当院のエコー下穿刺の取り組み (医療法人健栄会 三康病院)

4. 教育研修助成事業

コロナウイルス感染症の拡大に伴い、教育研修助成の申請がなかった。

5. 学会等共催事業 (459 万円)

腎・尿路疾患の予防と治療に関する学術研究の推進に寄与するため、学会等共催審査委員会で承認された学会及び研究会の共催事業を実施した。

(1) 学 会

- ① 第 94 回大阪透析研究会 R3.3.7 於：大阪国際会議場 主宰 坂口 美佳 (近畿大学)
- ② 第 95 回大阪透析研究会 R3.9.12 於：大阪国際会議場 主宰 山本 員久 (三康病院)
- ③ 第 42 回日本小児腎不全学会学術集会 R3.12.9～10 於：大阪市中央公会堂
 主宰 野島 道生 (兵庫医科大学)

(2) 研究会

- ① 日本組織適合性学会近畿地方会 代表世話人 芦田 隆司 (近畿大学病院)
- ② 大阪腹膜透析研究会 会長 林 晃正 (大阪急性期・総合医療センター)
- ③ 大阪腎移植病理組織研究会 代表世話人 岸川 英史 (県立西宮病院)
- ④ 移植後肝炎研究会 代表幹事 市丸 直嗣 (住友病院)
- ⑤ 慢性腎臓病 (CKD) アウトカム研究会 代表幹事 中西 健 (兵庫医科大学)
- ⑥ 大阪骨粗鬆症検診を考える会 会長 稲葉 雅章 (大野記念病院)

6. 普及啓発事業 (133 万円)

(1) キャンペーン活動及び啓発資料作成・配布

コロナウイルス感染症の拡大に伴い、予定していた街頭キャンペーンが中止となった。

(2) 患者団体活動助成

患者団体の活動に対し助成を行った。

- ① NPO 法人大阪腎臓病患者協議会 (大腎協)
- ② NPO 法人日本移植者協議会 (日移協)
- ③ 大阪移植の会
- ④ 大阪腎友会

(3) 勉強会の開催及び機関誌発行等

大阪府と共催で大阪府院内移植コーディネーター研修会を開催した。

また、機関誌 (OKF ニュース) を発行し賛助会員等に配布するとともに、ホームページを更新した。

7. 組織適合検査事業 (495 万円)

(1) 検査体制の整備に努めるとともに、検査事業の向上・改善を図るため、日本臓器移植 NW、検査機関、移植施設と意見・情報交換を行った。

(2) 献腎移植希望登録を円滑に行うため、組織適合検査 (HLA 検査、クロスマッチ検査) を当財団の費用負担 (一部、府補助金及び患者負担あり) により、大阪急性期・総合医療 C で実施した。

① HLA 検査 90 件 (うち、患者負担徴収分 81 件)

② 抗体クロスマッチ検査 0 件

8. 大阪府臓器移植コーディネーター事業 (654 万円)

(1) 日常活動として、三次救命救急センター、公的病院、民間病院の 22 医療施設を延べ 50 回訪問し、移植推進のための情報交換や普及啓発資料等配布した。臓器提供可能医療機関に対し移植医療の普及啓発を図るため、院内移植コーディネーター設置支援や臓器の提供に関する研修会の開催など提供体制の強化に努めた。また、大阪府、日本臓器移植 NW との連絡調整業務を行った。

(2) ドナー発生時は日本臓器移植 NW の指示により腎臓提供を承諾する通報から腎移植に至るまで、腎提供施設・移植施設との連絡調整、組織型の適合した移植希望登録者への連絡、検体・腎臓の搬送、ドナー遺族への対応を行った。

(3) 令和 3 年度における、大阪府内でのドナー情報は 15 件あり、提供に結びついたのは 5 件 (うち 1 件については腎提供なし。) であった。

<令和 3 年度 献腎移植実績>

提供：府内 4 件 8 腎、府外 4 件 4 腎

移植：府内 10 腎、府外 2 腎 計 12 腎

年 月 日	提供病院	移植病院	備考
3 年 8 月 26 日	(大阪府)	京都大学医学部附属病院	脳死
		大阪市立大学医学部附属病院	
9 月 29 日	(大阪府外)	(大阪府)	心停止
10 月 3 日	神戸市立医療センター中央市民病院	大阪医科薬科大学病院	脳死
10 月 23 日	大阪医療センター	大阪大学医学部附属病院	脳死
		大阪市立大学医学部附属病院	
12 月 11 日	(大阪府)	東京女子医科大学病院	脳死
		大阪大学医学部附属病院	
4 年 1 月 23 日	北海道大学病院	大阪大学医学部附属病院	脳死
2 月 23 日	聖マリア病院	大阪大学医学部附属病院	脳死
3 月 5 日	(大阪府)	(大阪府)	心停止
		(大阪府)	